

小金井市 民生委員 児童委員・主任児童委員

暮らしのこと、困ったこと、悩みごとなど、一番身近な相談相手です。相談内容に応じ行政機関との橋わたしのほか、子育て支援、高齢者福祉、相談支援（介護や仕事など）と地域に関する幅広い活動を行っています。相談の内容の秘密は守られます。

【住所（事務局）】	小金井市役所内第2庁舎内
【連絡先】	地域の民生委員（市報5/1号、または市のHP 民生委員・児童委員 参照） または地域福祉課地域福祉係（☎042-387-9915）へ
【相談方法】	電話、面談
【子どもの対象年齢】	特に定めはないが、児童の場合は18歳まで
【相談員の資格】	特に定めなし。都が決められた選任の要綱による。民生委員の中で主任児童委員は、特に子どもの問題を専門的に対応できる人
【継続相談】	可能。回数制限もなし。民生委員の交代も可能
【子どもだけの相談】	可能
【親以外の相談】	特に制限なし



相談の流れ

お住いの地域の民生委員さんに

直接電話

または

直接訪問

きいてみました

Q どんな相談ができますか？

A どんなことでも大丈夫です。まずは話してみても気持ちが楽になればいいなと思っています。

例えば

子どもが元気に学校に通えるようにしたい/いじめに遭っているのか心配/障がいがあるので心配 等々

Q どんな内容の相談が多いですか？

A 子どもに関する相談は当事者からというより、「子どもの泣き声が激しい家があるけれど…」など、ご近所の方が心配して連絡してくれることがあります。それとなく見守ったり、心配な場合は、確認してから関係機関に連絡します。

どなたが通報したかを明らかにすることはありません。子ども同士のトラブルや学校のことなどについてご相談を受けることもあります。

Q お宅に連絡していいのですか？

A はい。玄関に「民生委員」とわかる札をかけています。もし、自分の家に近くて話づらいということであれば、違う地域の民生委員に話すこともできます。

取材後記

学校、行政機関、PTA、子供会、健全育成の会などと連携し、地域のパイプ役も担っているということでした。ご近所づきあいの減っている昨今ですが、静かに地域を見守ってくれている方たちという印象をもちました。

地域福祉コーディネーター

地域の悩み・困りごとを地域の皆さんと解決する「コーディネートする」役割を担った専門職の*社会福祉協議会 職員のことです。

*民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織のこと

【住所】	小金井市本町5-36-17（2016.7下旬移転予定）
【連絡先】	（福）小金井市社会福祉協議会 ☎042-387-0011 ✉ k-chiiki-co@ace.ocn.ne.jp
【相談方法】	面談・電話・メール
【相談日】	月曜～金曜 9:00～17:00
【子どもの対象年齢】	特に定めなし
【相談員の資格】	都が定めた研修を受けています
【継続相談】	可能。回数制限もなし。相談員の交代も可能
【子どもだけの相談】	可能。直接来てください
【親以外の相談】	特に制限なし



相談の流れ



電話で予約

042-387-0011

（福）小金井市社会福祉協議会

相談員と面談

必要であれば次の予約

電話



：開所時間はいつでも受け付け

メール



：いつでも受け付け

きいてみました

Q どのような相談が多いですか？

A 小さなお子さんのいる親からの相談もありますが、福祉的な役割が主なので、子どものことだけでなく、地域生活全般のご相談を受けています。ひきこもりの相談などもあり、20代、30代が多くなっています。他機関と協力して生活困窮世帯の相談を受けることもあり、自立のサポートで、中3の受験生に学習支援の場につなげることもあります。一人親からの相談などは、関係機関と連携します。

例えば

引きこもり/育児困難/介護のこと/ご近所がごみ屋敷 等々

Q 学校との連絡を取ることはありますか？

A 相談者本人から了解を得られれば直接学校に連絡することもできます。SSWとの情報交換もしています。

Q 子どもがいきなり行ってもいいのですか？

A はい、大丈夫です。緊急な場合以外は親に黙っていることもできますので、遠慮なく来てください。また、子どもからの電話やメールでの相談も受け付けています。

取材後記

福祉という幅広い視点から見守ってくれている方たちで、もっと多くの人にその存在を知ってほしいと思いました。

学校で活躍する専門職

子ども自身の悩みや子育ての困り事も多岐にわたってきていて、最近新しく耳にする専門職があります。どんなことが相談できるのか、また役割の違いなど、小金井市教育委員会に聞きました。

【スクールカウンセラー（SC）】

困っている子どもの話を聴いて、主に心の整理をしていくのを手伝います。「友達との関係が難しい」「登校するのがつらい」「親とケンカしてしまった」など困ったことや心配なことなど何でも相談できます。相談だけでなく、自分もやもやしていることを整理したり気持ちを落ち着けたりするのに相談室で過ごすこともできます。生徒だけでなく、保護者も相談できます。

＜連絡方法＞ 各小中学校に相談室があり、SCが決まった日に来校します。
直通電話で予約ができます。
※SCが来校する日時、場所、連絡先などの詳細は、各学校から配られるお手紙や学校のHPなどをご覧ください。

＜相談員の資格＞ 臨床心理士

【スクールソーシャルワーカー（SSW）】

子どもが抱える課題を福祉の視点から子どもの側に立って支援します。必要に応じて関係機関とも連携し、問題の当事者である子ども自身にとってどうすることがもっともいいことなのかを考えます。

「子どもが登校をしづんでいる。」「子どもがゲーム依存、スマホ依存になってしまっている。」「子どもの学校でのパニック行動が増え、家でも荒れている。」「子どもの高校進学など教育資金に不安がある」など、どうしたらいいかわからない子どもの行動についてや利用できる具体的な制度が知りたいときなども相談できます。

＜連絡方法＞ 教育委員会指導室に直通電話があります。
電話口で「スクールソーシャルワーカーと話がしたい」とお伝えください。
受付時間 月曜日、火曜日、木曜日、金曜日 10:00～16:00
電話番号 042-387-9877

＜相談員の資格＞ 社会福祉士
※小金井市では4人のSSWが活動しています。

【特別支援コーディネーター】

特別支援教育を推進するため、関係機関との連携・協働の強化、保護者の相談窓口、担任への支援、巡回指導や専門家チームとの連携などの役割を担っています。豊かな教職経験と指導力、障害理解があり、学校長により指名され、研修等を受けています。

＜連絡方法＞ 市内の小中学校に配置されていますので、各学校にお尋ねください。

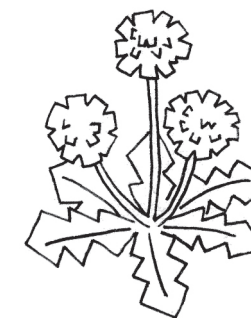
どの専門職も守秘義務があり、秘密をしっかり守りますので安心して相談してください

相談してみました！（体験談）

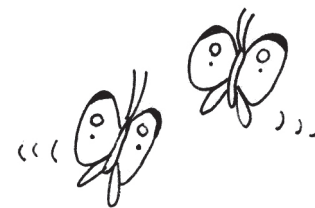
実際に相談した経験のある方に聞いてみました。

子どもが小学校2年のころから学校に行き渋りはじめました。最初担任に相談していたのですが、産休で途中交代。新しい先生にも相談しましたが、形式的なやりとりで疲れてしまいました。教育相談所に相談したところ、検査を受けてみないかと勧められ、おかげで発達にでこぼこがあることがわかりました。結局不登校になってしまいましたが、もくせい教室や通級指導学級*に通いながら、なんとか中学を卒業。高校ではチャレンジスクール**に入学できて、同じように不登校経験のある子たちと出会い、居場所をみつけれられたようです。

* 通常の学級に在籍しながら週に数回通い、その子の困難・ニーズに合わせた指導・援助を行う。
** 都立の三部制の定時制単位制総合学科高校



数年前、子どもが私の知らない持ち物を持っていることに気がつきました。どうしたのか聞いたら、友達にもらったというのですが、高価なものだったので心配になりました。その友達の親御さんとは知り合いではなく、学校の先生に話すのは勇気がいるので、お世話になった児童館の職員に相談してみました。もらったままにしておくわけにもいかなかったし、今後の子ども同士のおつきあいも大切なので、我が子とも再度よく話して、親子で会いにいきました。子育てって何が起るかわかりません。でも、そのときに真剣に向き合ってくれたと思います。



小学校低学年で子どもが学校に行かなくなりました。まさか我が家にこんなことが起きるなんて想像もしていませんでした。担任やスクールカウンセラーと話し合いをしても、解決の糸口も見つからないまま途方にくれたところ、学童保育の先生が「朝からここに来てもいいよ」と言ってくださいました。本当にありがたかったです。また、たまたま巡回に来たスクールソーシャルワーカーにつないでくださり、私たち親子のために親身に話をきいてくださいました。どこか居場所がないかと探していた時にも「もくせい教室」を紹介してくれて、見学も一緒に行ってくださいました。結局その時は通えませんでした。高学年になって、今は「もくせい教室」に通っています。一度見学に行っていたので、本人も通いやすかったようです。いろいろ遠回りしましたが、今はその経験が良かったと思っています。

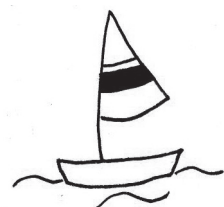


子育て相談というと、具体的な解決の情報を望む方が多いと聞きます。でも、普段の自分の何気ない悩みをカウンセラーにありのままに話しているうちに、問題の原因が別のところにあることに気がつき具体的な解決方法がある程度予想されてきました。また、今現在自分と家族がどんな距離にあって、それを相手がどう受け止めているかを整理するのを手伝ってもらったという感じです。利用したのは女性総合相談。周囲の音や声が聞こえてくるような所だったので、落ち着かない感じもしました。もしかしたら音に敏感な人には気になるかもしれません。



息子が小学校5年の時、毎日親子げんかが絶えませんでした。朝、登校前、帰宅後、祖母が遊びに来た時も、反抗的な態度をとっていました。夏休みになると、朝から晩までげんかの毎日でした。2学期になり、担任の先生に相談して、学校の様子などを聞くと、学校生活では特段問題はないとのこと、様子を見ましようと言われました。今、思えば中学受験を目指し、塾に通い始めたころだったので、ストレスやプレッシャーが強かったのかもしれない。結果、受験はしませんでした。それでよかったと思います。気になることがあるときは、些細なことでも相談するのが良いと思います。

悩んでるというほどではないけれど、子どものことで少しモヤモヤしたら、幼稚園児の下の子のお迎えの時に、以前お世話になった先生に話すことがあります。幼い頃の我が子を知っている先生だから性格などわかってもらえるし、我が子の成長も感じられるので、ホッとします。

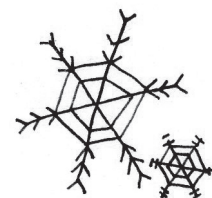
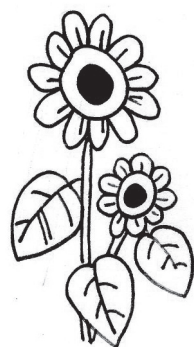


子どもが友達関係でうまくいっていないようだったので、スクールカウンセラーに相談してみました。まず私が会いに行っただけですが、話してみても良かったので、子どもにも勧めってみました。なかなかすぐには決断できなかったようですが、行ってみたら、話を聞いてもらっただけでずいぶん楽な気持ちになったようです。特に話すことがなくても、相談室が空いていれば時々お部屋に遊びに行っているようです。心が落ち着くのかもしれません。

中2の子がラインのグループに入りました。どうやらクラスの特定的の子をグループから外して別グループを作ったり、その子だけわからないような話題で盛り上がり、と陰湿な嫌がらせがあるらしいです。うちの子はとりあえずそういう対象にはなっていないものの、いつ対象になるかわからない、対象になりたくないからすぐ既読して返事しなきゃ、と戦々恐々。そこで学校の「こころの相談室」へ電話してみました。生徒だけでなく保護者もお気軽に、と毎年説明されていたので、抵抗なく相談できました。他からも同様の相談があり、学校側も対策を検討しているようです。友達関係に親が顔を突っ込みすぎても、とも思っていたのですが、親の働きかけがきっかけで、今回はいい方向に向かいそうです。



児童館をよく利用していたので、子どもの不登校が始まった時、真っ先に頭に浮かんだのは児童館で月一回実施している思春期相談でした。こんな相談場所があることは、普段意識しなければ知らない親もいるだろうし、そういう相談があることを見聞きする機会もあまりない気がします。スクールカウンセラーにも相談しましたが、嫌な思いをしたのでやめました。思春期相談は子どもが同席しなければいけないのかと思っていたのですが、親だけでも良いとのことだったので、最初は私だけで伺いました。相談員はとてもよく話を聞いてくださる方だと思いました。後日同席させた子どもはあまり合わなかったようです。親が相談に行っただけで本人に響かないこともあります。合う合わないはあると思うので、他にも相談できるところがあればいいのと思います。



今年中学生になった子ども。4月中は、友達、部活、毎日着る制服、と初めてづくしで張り切って通っていましたが、5月の連休明け辺りから、朝になると、お腹が痛い、体がだるい、と言うように。充分食べて寝ているし、学校に行ってしまうと特に変った様子もなく過ごしているようなのです。朝以外はいたって元気なので、不思議です。でも、今朝も「お腹、痛い」と。実際、顔色も青白く、具合悪そう。しばらくソファで横になり、お友達が迎えに来ると、だるそうに「行ってきます」。本人にも自覚のないストレスとか、実は何か困難を抱えているのか、色々心配になっています。小学校のように気軽に先生に聞けない気がして…。そこで習い事の先生に相談してみました。小さい時から10年以上も見ていただいているので、信頼して包み隠さずお話しできるのがありがたいです。習い事では普段どおり元気に、ひとまず安心しました。誰かに聞いてもらうだけでも気が楽になり、すぐに解決に結びつかなくても、話してみるっていいですね。